【避難者援護班】

避難者援護班でやること！

【班長は手順書を読んでください】

避難者援護班のゼッケンをつけましょう。



これからやることは

1.居住スペースの設営

2.施設内の安全点検 です。

外で避難者が待機しているため、迅速に設営を行いましょう。

次の手順書を読んでください！

【避難者援護班】

居住スペースの設営

【オモテ】 No1

居住スペースの設営を行います。
作業としては、
①一般避難者スペースの設営
②要配慮者（特に介助等が必要な方）のスペースの設営
の２つです。

備蓄倉庫から多くの物資を取り出すため、避難者援護班全員で協力して行います。
作業の詳細については裏面を確認してください。

備蓄倉庫の場所

写真
備蓄倉庫の場所

【避難者援護班】

居住スペースの設営

【ウラ】No1

①一般避難者スペースの設営

備蓄倉庫からパーティション、毛布、エアマットを一般避難者スペース（体育館等）に運びます。設営に関する注意事項は資料①を確認してください。

②要配慮者（特に介助等が必要な方）のスペースの設営

要配慮者(特に介助等が必要な方)のスペースは本部班が決定します。本部班から連絡があり次第、設営を行います。
設営に関する注意事項は資料①を確認してください。

パーティション



毛布



エアマット



ダンボールベッド



【オモテ】
資料①

設営に関する注意事項

【一般避難者スペース】

①一般避難者スペースでは飛沫感染などを防ぐため、パーティションを使用します。
設置レイアウト（例）が裏面にあります。
②パーティションは避難者自身に組み立ててもらいます。体育館等の一般避難者スペースの入口付近で、パーティションを避難者に渡してください。パーティションを設置する場所は、担当者を数名配置して、避難者に指示を出してください。
③パーティションの設置が終わったら、避難者１人に対し、毛布１枚、エアマット１枚を渡してください。

【要配慮者(特に介助等が必要な方)のスペース】

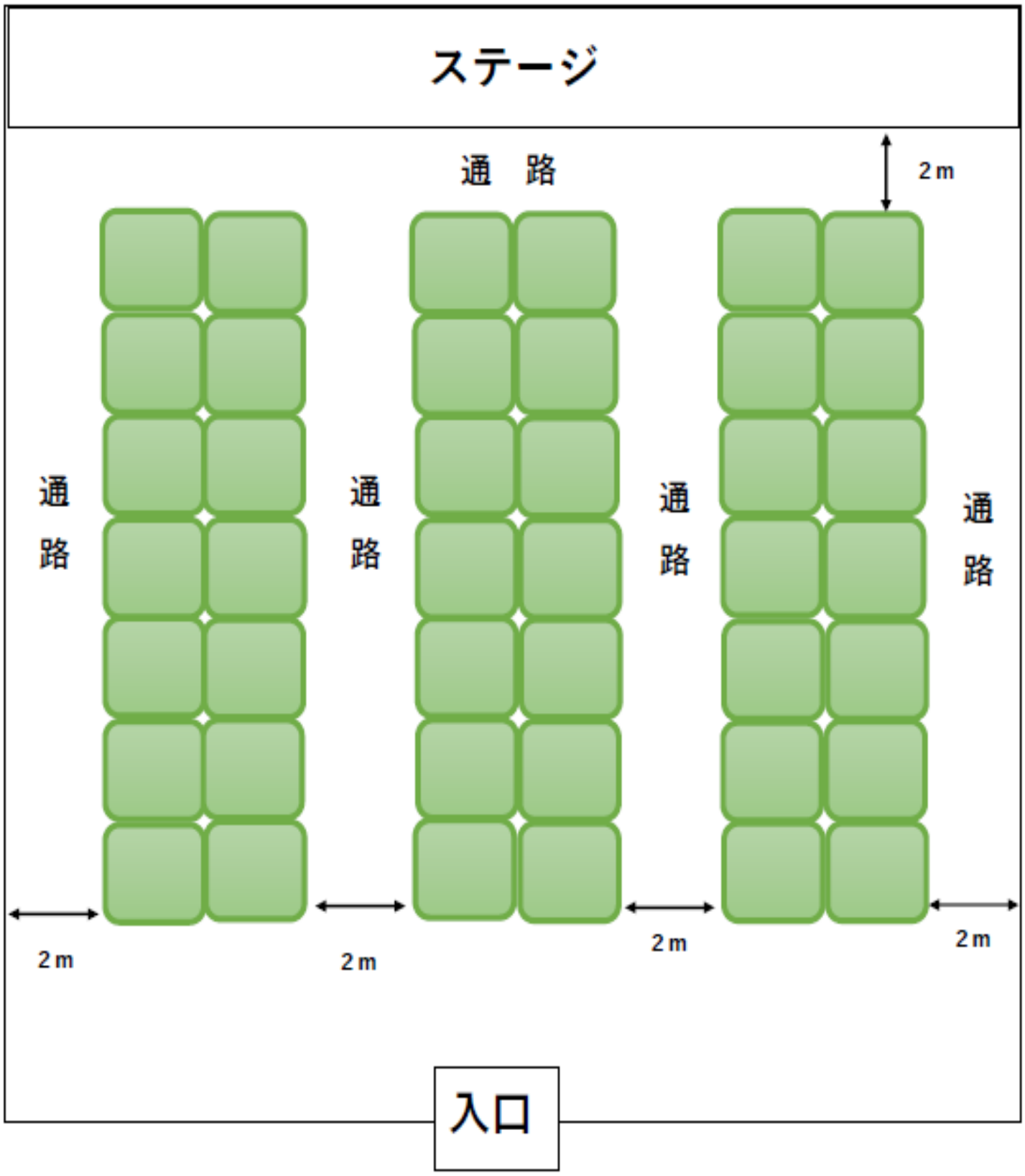
①備蓄倉庫に「ダンボールベット」があるので、運び出して準備をしてください。
②避難者１人に対し、毛布１枚、必要に応じてエアマットを渡してください。

【ウラ】

資料①

パーティション設置レイアウト（例）

【体育館】



【避難者援護班】

施設内の安全点検

No２

この手順書は今すぐに実施しなくて大丈夫です。

施設内の安全点検は避難者援護班が避難所開設後、定期的に実施します。

１日３回程度、２人１組で施設内の点検とライフラインの確認を行ってください。
点検する際は必ずヘルメットと軍手をつけましょう。
点検が終了したら、班長に報告するのを忘れないようにしてください。

以上で避難者援護班の手順書は終了です。
手順書に記載がない問題等が発生した場合は本部班等と相談して対応にあたっていきましょう。